平成28年度　全国学力・学習状況調査結果

本年4月19日に全国で一斉に実施された全国学力・学習状況調査の結果について概要をお知らせいたします。

※佐呂間町には3つの小学校があり、それぞれ特色のある教育を実施しています。この調査結果においてもそれぞれの学校ごとで特徴が異なります。それぞれの学校ごとに結果をお知らせした場合、少人数の学校では児童が特定されてしまうことから、佐呂間町全体の子どもたちの傾向という形でお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査とは？

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るために、小学校6年生と中学校3年生を対象に全国一斉に実施される調査で、次の内容が調査項目となります。

①教科に関する調査

▼国語A、算数・数学A
知識に関する調査

▼国語B、算数・数学B
活用に関する調査

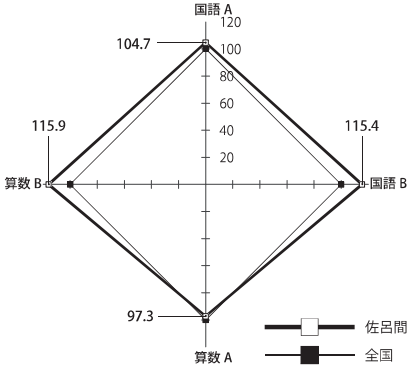
②生活環境や学校環境に関する調査
児童・生徒に対する調査、学校に対する調査

小学校

①教科に関する調査結果

※平均正答率＝正しい答えの割合
※教科ごとに全国平均を〝100〟とした場合の佐呂間町の状況です。

	国語A	国語B	算数A	算数B
佐呂間町	104.7	115.4	97.3	115.9



②生活環境や学校環境に関する調査結果

	1日のテレビ視聴（2時間以上）	1日のゲーム時間（2時間以上）
佐呂間町	66.7%	58.3%
全国	57.1%	29.7%

	平日の家庭学習（1時間以上）	休日の家庭学習（1時間以上）
佐呂間町	27.7%	33.4%
全国	62.5%	57.0%

	家で学校の宿題をする	家で自分で計画を立てて勉強する
佐呂間町	91.7%	38.8%
全国	97.0%	62.2%

	家で学校の授業の予習をする	家で学校の授業の復習をする
佐呂間町	38.9%	47.2%
全国	43.3%	55.2%

③分析

算数Aが全国平均を僅かに下回ったものの、国語A・国語B、算数Bが全国平均正答率を上回っており、各教科の基礎・基本や特にその応用において学習内容の定着が図られています。

領域別にみると、国語Aの「話すこと・聞くこと」、算数Aの「量と測定」「図形」「数量関係」の領域が全国平均正答率を若干下回っていますが、他の領域すべてが全国平均正答率を上回っており、学力の向上が図られたことが読み取れます。

生活環境や学校環境に関する調査では、テレビ視聴時間、ゲームの時間の多さ、家庭学習時間が十分に取れていない、予習・復習・宿題以外の学習を自分で計画的に取り組むことが十分にできていないなどの傾向をとらえることができます。

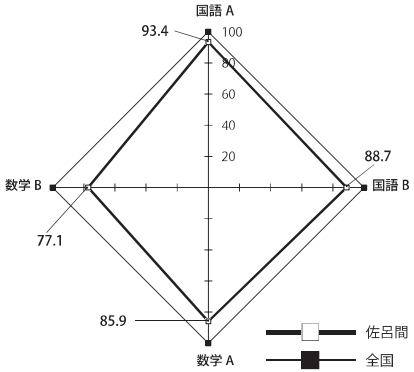
また、各学校とも指導法の工夫・改善を中心に研修に取り組み、教員としての力量を高め、児童の学習内容の理解や定着に努力を重ねていることがうかがえます。

中学校

①教科に関する調査結果

※平均正答率＝正しい答えの割合
※教科ごとに全国平均を〝100〟とした場合の佐呂間町の状況です。

	国語A	国語B	数学A	数学B
佐呂間町	93.4	88.7	85.9	77.1



②生活環境や学校環境に関する調査結果

	1日のテレビ視聴（2時間以上）	1日のゲーム時間（2時間以上）
佐呂間町	54.3%	50.0%
全国	48.7%	34.9%

	平日の家庭学習（1時間以上）	休日の家庭学習（1時間以上）
佐呂間町	68.8%	77.0%
全国	67.9%	67.8%

	家で学校の宿題をする	家で自分で計画を立てて勉強する
佐呂間町	95.9%	60.4%
全国	90.1%	48.4%

	家で学校の授業の予習をする	家で学校の授業の復習をする
佐呂間町	25.0%	73.0%
全国	34.2%	51.0%

③分析

国語A・国語B及び数学A・数学Bいずれについても、全国平均正答率を下回っており、各教科の基礎・基本の定着が十分ではなく、また、応用を苦手としていることが読み取れます。特に数学Bの活用に関する調査では、全国平均正答率を22・9ポイント下回り、課題の残る結果となりました。

領域別にみると国語Aでは「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「書くこと」「読むこと」、数学A・Bで「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」すべての領域において、全国平均正答率を下回りました。

生活環境や学校環境に関する調査では、家での学校の宿題や家庭学習を行う等、学習に意欲的な側面が見られますが、テレビ視聴やゲームの時間が全国平均より多くなっています。

今後、学校では、教科時数の確保、指導法の工夫・改善、教職員研修の充実等に更に努めるとともに、基礎・基本の定着が確実に図られるよう、生徒自身が自分なりの学習への取り組み方を工夫するとともに、教職員が一層の授業の充実を図ることが必要と考えます。

今後の学力向上に向けて…

✻町内教職員で組織する『学力向上委員会』において、「学力・学習状況調査」の分析や家庭学習のさらなる定着、ICTを活用した授業等について検討し、町全体の取り組みを推進していきます。

✻佐呂間町単独で教員を配置し、きめ細やかな指導の充実を図っていきます。

✻学びの連続性を保障するための小学校・中学校・高等学校間の連携強化に努めていきます。

✻町内の学校が、それぞれ本調査の分析をもとに成果と課題を明確にし、課題解決に向けて一層の実践の推進を図っていきます。

※ICT教育：用語解説
情報通信技術の利用・活用を教育の一環として取り入れた教育。
Information（インフォメーション）
Communication（コミュニケーション）
Technology（テクノロジー）